

秋の自然に触れて

作成日 2021年11月12日（金）

作成者 山川真紀、進藤早苗

対象：4歳児 さくら組、きく組

保育のねらい：秋の自然に触れながら、交通ルールや山でのマナーを守りみかんを収穫する楽しさを味わう。



保育の振り返り

すんうけ、みも切と、さい
発かそつ、とらこくさい
出みし見らこたるただ
がて嬉もがたっいもく
なつも（が）ないやて声て
みん切子がじおうううみ
りのイ感でどないて
張どが山つ、にとい
が、（イ沢知し、木い聞
たらが、をを験がた非
しがたちさと経んげ、是
まなしよう議こもかあ、
いしまお思のとみてを、
てだいの不んこ、せ話
っいて栗のかいとさ出
降思し。然みくこべい
がををた自、にる食思
雨方配し、てりいもた
はり心でが見切がにっ
朝渡はいたを。方人か
の、のちばし本たのし
日道たっで絵しつち楽
当歩私定のまさうど
た断と然安んいだおけ
え横？自不かでくをた
迎やなどがみんてんれ
路かり候にししか疲
て、道夫た天前栗をみり
いた丈い、事を話いび
てっ大と。話世しっ
しら、ちりた会お味よ
にもで落だしもの美ち
みてのがんまでん。く
しえた栗止み士かたく
楽教つやりし同みに
をでかりた楽達、まき
日室なぐつを友でり歩
の教がん隆穫となは
こ全とどが収」こと道
も安こ、雨でよく日山
子通たりでいる行た。
の交いた中ば切に來た。
どの歩い途つり出し
。日をがにいっ狩がま
た先離鳥のち持んとり
し。距離、る持をかこ帰
また、いはい気んみるて
きし長にいていか。知っ
てでに中れしみたを持
っ空な道晴嬢「しとに
行のん。た」まこう
に秋こたしたしよしるそ
りいとしくるをすし
狩良達ままわ切穫化嬉
んのも来きくで収変を
かちど出歩わミらにん
み持子がく、サがジか
で気。としとハなンみ
組でたこ優さはえれた
くれしるに白ん考才い
き晴ま見う面かと、頂
組、しをよくみ？ら、
らに目くまで、の緑か
さる山に踏んあれ色んね。

（健康な心と体、言葉による伝え合い、豊かな感性と表現、協同性、社会生活との関わり、数量・図形、標識や文字などへの関心、感覚、自然との関わり・生命尊重・思考力の芽生え）